

# 千城台地区学校適正配置に関する説明会 質疑応答要旨

平成27年5月30日（土）、31日（日）開催

※Qは質問、Aは回答

## ①30日（土）

- Q) 旭小と南小が統合すると、将来的に単学級は発生するのか。
- A) 今のところ、複数学級で推移すると考えている。
- Q) 中学校は学年3学級の小規模校なのに、なぜ統合を見送ったのか。
- A) 適正規模は12学級以上だが、地元の意見を重視して見送ることとした。
- Q) 千城台南中では、免許外教員が授業をもっていると聞いている。
- A) ほとんどの中学校では、9教科の教員がいる。しかし、学校の規模に関わらず、免許外の教科を教員が教えている現状はある。
- Q) 通学路の安全確保について、主体となるのは誰か。
- A) 校長が通学路を定め、通学路の危険箇所については、校長が教育委員会に改善依頼を要望する。
- Q) 統合の協議進行中に、保護者が通学路の安全に関する要望を出してよいか。
- A) 保護者の意見を協議会に出してほしい。通学路の安全確保については、学事課が所管となり、当該校の先生や保護者と歩いて、改善要望箇所を確認するなどしている。
- Q) 統合校で行われたアンケートでは、統合して良かったと思っている人が多いことが分かったが、設問の形式はどのようなものか。
- A) 記述式ではなく、いくつか回答例を示し、あてはまるものを選ぶ形式にしている。
- Q) 東小が単独で残る場合、学校名は変わるのか。また、統合校と同様に大規模改修工事を実施してもらえないか。
- A) 校名は変わらない。また、老朽化している箇所については改修工事を行う。ただし、統合新設校は統合に合わせて工事を行うが、統合しない場合は、市内全体の老朽化対策の中で順に行っていく。
- Q) 統合校が2校できた場合、2校とも特別支援学級はできるのか。
- A) 北小に現在特別支援学級が設置されていることから、統合校の1つに設置することを検討していくが、もう一つの統合校については、他の学校と同様に保護者から設置要望が出された場合に検討することになる。

## ②31日（日）

- Q) 統合によるポジティブな意見が多いが、ネガティブな意見を教えてほしい。
- A) 校庭が狭くなったという子どもの意見や、運動会の観覧席が取りづらくなったという保護者の意見があった。また、校長先生や教頭先生からは、児童個々と話す機会が減ったという意見を聞いている。

Q) 学校適正配置について、国としての方針に変更はあったのか。

A) 国からは、今年の1月に適正規模・適正配置等に関する手引書が示された。千葉市では実施方針が出されて10年近くになるが、新しい実施方針を策定する準備を始めている。

Q) 東京では、教室に冷暖房設備がある。統合校にも整備してもらえないか。

A) 千葉市では、老朽化対策を優先して行うこととしている。冷房については、特別支援学校や特別支援学級、窓を閉め切りにして授業を行う音楽室に、優先的に設置をしていく予定である。

Q) 千葉市は統合を推進するという方針か。

A) 学校適正配置を推進するという考えである。千葉市として統合を積極的に進めているわけではなく、適正配置を推進する上での一つの手法が統合ということである。実際、小規模校が散在している地域は、統合が難しい。そこで、小規模校同士が近い地域に適正配置の協議をお願いしている。

Q) 統合した場合の通学路の安全確保は大丈夫か。

A) 千城台地区は先行地区よりも通学距離が遠いという点は、協議が長期化している一つの要因である。通学路は校長が指定し、危険箇所については、地元の方々や教育委員会が実際に通学路を歩いて確認して対策を練る。統合に向けた準備を2年前から行う統合準備会では、学校、PTA、教育委員会が通学路の安全確保について協議していく。

Q) スクールバスを出してもらえるか。

A) 今のところ出す予定はない。公共機関を使つての通学を認めている学校はある。

Q) 統合について協議する中で、通学距離のデメリットも十分に検討してほしい。また、学校の歴史や、特別支援学級が設置されていることなどの特殊性についても十分配慮してほしい。

A) 了解した。

Q) 現在、西小学校区に引っ越しているが、以前住んでいた学区の東小に学区外通学している。西小が統合した場合は、西小に通学できるのか。

A) 千葉市は学区制なので、原則として統合校に通うことになるが、指定された学区外通学の事由があれば、学区外申請を出すことはできる。